

令和7年3月28日

琴 平 町
町 長 片岡 英樹 様
琴平町教育委員会
教育長 篠原 好宏 様

琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会

委員長 北岡 隆

令和6年9月26日付けで任命を受けた、琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会の検討事項について、計6回の協議を経て、下記の通り意見をまとめましたので報告します。

記

- ① 統合小学校・統合認定こども園の建物配置について
- ② 統合小学校校舎の建物構造について
- ③ 統合小学校・統合認定こども園の平面計画について

琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会
検討結果報告書

令和 7 年 3 月 28 日

はじめに

令和5年12月1日に「琴平町学校等再編整備検討協議会」から小学校及び認定こども園の再編整備に関する答申が示され、令和6年1月9日に琴平町及び琴平町教育委員会から琴平町立小学校・認定こども園再編整備基本方針が示されました。「琴平・榎井・象郷の3つの小学校を一校に統合するとともに、南・北の二つのこども園も一園に統合し、町の地理的に真ん中あたりに新たな土地を購入し、町立統合小学校及び町立統合認定こども園を併設し、いずれも新築する。」という基本方針に従い、琴平町は事業を進めており、基本設計の段階で保護者・学校関係者等から意見を頂くため本委員会が設立されました。

本委員会では、少子高齢化が進む琴平町において、予算の上限がある中で子ども達が安全安心に過ごせ、いかに魅力ある施設整備をすることができるか、合計6回の協議を重ねましたので報告します。

協議記録については随時報告をしてまいりましたが、主な意見の内容については、後述の「琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会協議記録」に記載しています。

また、今後琴平町の将来を担う子ども達が、通学・通園したくなる学校となるように、次年度の詳細設計でも十分な協議を行い慎重に事業を進めていただくことを期待します。

令和7年3月28日

琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会
委員長 北岡 隆

報 告 書

琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会での協議報告については、下記の通りである。

記

① 統合小学校・統合認定こども園の建物配置について

統合小学校及び統合認定こども園の建物配置については、「認定こども園を東側に配置し、統合小学校を西側に配置した方が、認定こども園への送迎時に多く利用する駐車場が東側県道進入口の近くに配置でき、敷地の利用の面から効率が良いのではないか。」という意見が出た。

しかし、近隣住民への騒音問題や校舎を北側に配置することによる農地への影響、児童や教員などの動線、統合小学校の運動場の形や広さ、日照などを考慮した結果、添付資料の平面図にあるように、統合小学校は敷地南東側に、統合認定こども園は敷地北西側に配置することが望ましいのではないかとという結果となった。

また、プールについては、事務局提案の、ヴィスボことひらを利用することが合理的であるという判断に至った。これは、建設費用の削減はもとより、夏季の熱中症予防やインストラクターによる専門的な指導が可能となることや、プール管理業務の学校負担もなくなることなど利点が多いと考えたためである。

② 統合小学校校舎の建物構造について

施設見学のため訪問した、さぬき市立長尾小学校は鉄骨造となっており、建築費用及び工期の面など利点があるとのことであった。そこで設計事務所から提示された鉄骨造と鉄筋コンクリート造の比較表によると、鉄骨造の方が前述のとおり建築費用及び工期の面などについては優位性があると提示されたが、鉄筋コンクリート造の方が耐火性及び遮音性並びに居住性の面で優れており、鉄骨造を同性能とすると、建築費用も上がると報告を受けた。また、香川県内のほとんどの小学校が鉄筋コンクリート造であり実績も多い。検討委員の意見でも琴平町唯一の小学校であり、安全性や居住性などの面から鉄筋コンクリートを支持する声が多かった。

以上のことから、統合小学校校舎の建物構造については、鉄筋コンクリート造が望ましいと考える。

③ 統合小学校・統合認定こども園の平面計画について

統合小学校及び統合認定こども園の平面計画については、町が小学校の教員やこども園の先生などの意見を取り入れつつ、検討委員の意見も交えて基本設計の都度修正を行った。検討委員の主な意見については、後述の「琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会協議記録」に記載している為、確認願いたい。

以上の経緯により、添付資料の平面計画となった。本議題については、次年度の詳細設計段階でも、学校関係者等と十分に協議を行い進めていただくことを期待する。

○ 琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会協議記録

	検討委員からの意見 ※主なもののみ記載
第2回	敷地外の町道を使うのは近隣住民への影響が出ないか
	子ども達の安全の為に歩車分離は徹底した方が良いのではないか
	敷地内通路を一方通行とするのは使い勝手が悪いのではないか
	駐車場台数が多いので減らして、建物を大きくした方が良いのでは
	認定こども園は避難のこと考え、平屋にした方が良いのでは
	認定こども園の屋上は危険なので不要ではないか
	小学校の大階段は児童が転落する恐れがある上に、教員の運用上の負担が増えるので不要ではないか
	現代はタブレットを用いた授業なので、わざわざコンピューター室を作る必要は無いのではないか
	1階に1年生だけは他の生徒の様子が見えない為、他学年と同フロアが良いのではないか
第3回	こども園を西側に配置し、駐車場を進入口から近い位置に配置した方が良いのではないか
第4回	予算等のことも考慮すべきだが、琴平町で唯一の小学校という事もあり鉄筋コンクリート造の方が良いのではないか
	倉庫は広く確保した方が良いのではないか
第5回	廊下の幅は広い方が良いのではないか
	防災倉庫の面積を十分なものにしてほしい
	図書室の面積は町民への開放を考慮し、広い方が良い
第6回	体育館のバスケットゴールは2面必要だと考える

※第1回については、これまでの経緯と今後の予定等の説明だったため、協議記録は記載していない。

○ 次年度以降の詳細設計では、以下の点について配慮して頂きたい。

- ・学習機器は、今後多様化する学習スタイル等に対応できる最新のものを導入すべきだと考える。
- ・廊下などはぬくもり感が出るように木質化すべきだと考える。
- ・詳細設計などでは、現場（小学校の先生やこども園の先生等）の意見をしっかり聞いて欲しい。
- ・激甚化する災害に対応できるような設備を整備すべきと考える。
- ・琴平町らしさを表現する建造物等を制作してもよいと考える。

○ 琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会及び施設見学の記録

令和6年9月26日（木）

【第1回】 琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会

- ・これまでの経緯について
- ・今後の予定及び検討内容について

令和6年10月29日（火）

【第2回】 //

- ・統合小学校及び統合認定こども園の素案説明
- ・統合小学校及び統合認定こども園の建物配置について グループ協議

他市町小学校・こども園施設見学

- | | | |
|--------------------|---------------|-----|
| ・観音寺市立豊浜小学校・豊浜こども園 | 令和6年11月15日（金） | 24名 |
| ・さぬき市立長尾小学校 | 令和6年11月25日（月） | 24名 |
| ・綾川町立滝宮こども園 | 令和6年11月26日（火） | 28名 |
| ・高松市立香南小学校 | 令和6年12月19日（木） | 16名 |

令和6年12月20日（金）

【第3回】 //

- ・統合小学校のプールの有無について、建物配置について
- ・視察小学校及び視察こども園の報告について
- ・統合小学校及び統合認定こども園の平面計画について グループ協議

令和7年1月30日（木）

【第4回】 //

- ・統合小学校及び統合認定こども園の建物配置について
- ・統合小学校及び統合認定こども園の建物構造について
- ・統合小学校及び統合認定こども園の平面計画について グループ協議

令和7年2月28日（金）

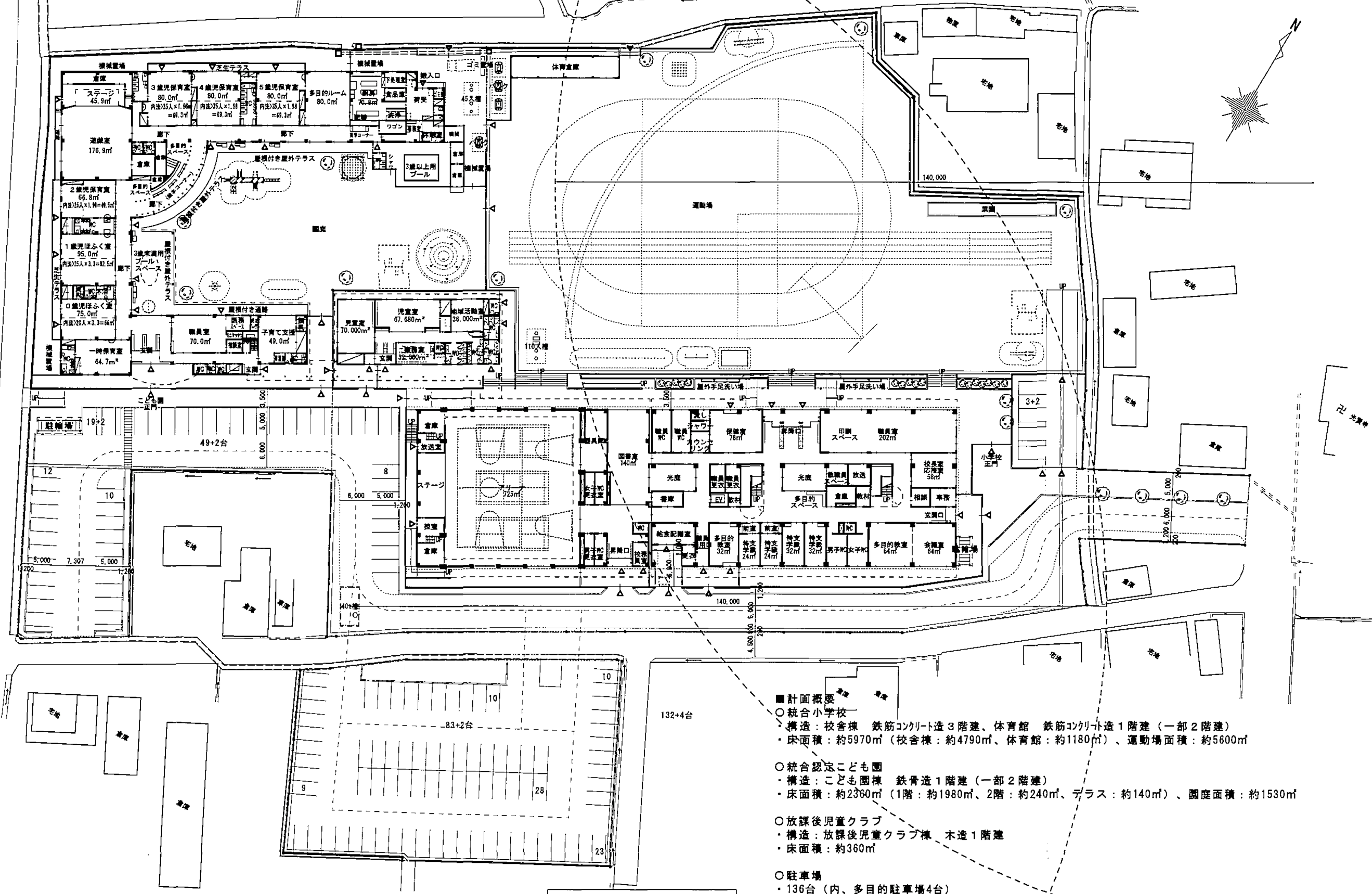
【第5回】 //

- ・統合小学校及び統合認定こども園の平面計画について グループ協議

令和7年3月19日（水）

【第6回】 //

- ・統合小学校及び統合認定こども園の平面計画について グループ協議



- 計画概要
- 統合小学校
・構造：校舎棟 鉄筋コンクリート造3階建、体育館 鉄筋コンクリート造1階建（一部2階建）
・床面積：約5970㎡（校舎棟：約4790㎡、体育館：約1180㎡）、運動場面積：約5600㎡
 - 統合認定こども園
・構造：こども園棟 鉄骨造1階建（一部2階建）
・床面積：約2360㎡（1階：約1980㎡、2階：約240㎡、テラス：約140㎡）、園庭面積：約1530㎡
 - 放課後児童クラブ
・構造：放課後児童クラブ棟 木造1階建
・床面積：約360㎡
 - 駐車場
・136台（内、多目的駐車場4台）

配置図 A3:1/700

